

本日、新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、このように異例の形ではありますが、在フィリピン日本国大使館にて、在留邦人の皆様に御自宅からの御参列を賜り、慰霊祭を執り行うことができましたことに、心から御礼申し上げます。

先の大戦では、ここフィリピンで日本人50万人、フィリピン人100万人を超える数多くの方々が尊い命を落とされました。祖国に残された家族の安寧、祖国日本の行く末を思いながら、熾烈な戦いに傷つき、飢えや病に苦しんだ方々、再び祖国の地を踏むことができなかった同胞の方々の無念さはいかばかりであったかと改めて想わずにはられません。全ての戦没者の方々の御霊（みたま）に対し、謹んで哀悼の意を表します。

戦後、祖国日本は立派に立ち直り、世界の中で平和を重んじる国として、名誉ある地位を築きました。戦争の惨禍を二度と繰り返さないとの決然たる誓いを貫き、万人が心豊かに暮らせる世界の実現を目指して、この名誉ある地位を更に強固なものとしていくことを、戦没者の方々に改めてお誓い申し上げます。

今年は、日本とフィリピンの国交正常化65周年を記念する年です。コロナ禍という未曾有の危機の中にあって、両国の信頼関係は益々強まっております。日本自身がコロナ禍で危機状況にあるにもかかわらず、更に厳しい状況下にあるフィリピンに対し支援の手を差し伸べている日本に対し、フィリピン政府は、「兄弟よりも近しい友人」と表現しています。このような両国関係を築けたことを戦没者の御霊に御報告できることは、戦後を託された我々日本人として誇りに思います。

最後に、尊い命を捧げられ、祖国の礎となられた幾多の方々の御冥福を改めてお祈りするとともに、御遺族の皆様、参列者の皆様、在留邦人の皆様の平安、並びに日本とフィリピン両国間の一層の友好親善を祈念し、慰霊祭の閉会の辞といたします。

令和三年八月十五日

駐フィリピン日本国大使 越川 和彦